SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

JSB1000 All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

初のポールポジションを獲得した渡辺一樹

渡辺一樹が前人未踏の1分47秒台でポールポジション! 抜群の仕上がりを見せる高橋巧が勝利を狙う!! 満身創痍の中須賀克行、津田拓也、柳川明は?

シリーズ第2戦を迎えた全日本ロードレース選手権。第1戦は、JSB1000クラスのみだったため、今回が他の3クラスにとって開幕戦となる。そのため木曜日から特別スポーツ走行が設けられ、通常とは一日長いレースウイークとなっている。JSB1000クラスで木曜日、金曜日とトップタイムをマークしたのは、高橋巧だったが、ポールポジションを獲得したのは、渡辺一樹だった。

土曜日にノックアウト方式で行われた公式予選。まず全車で争われたQ1で、渡辺、高橋の2人が1分48秒台をマーク。中須賀克行、津田拓也、山口辰也、柳川明、加賀山就臣と順当に続くが、8番手には、最後のアタックで1分50秒385をマークした酒井大作がすべり込み、中冨伸一が11番手にノックアウトされる。ヨシムラの津田は、セッション開始早々に3コーナーで転倒を喫してしまい、このレースウイークに乗っていないスペアバイクでTOP10チャレンジに臨まざるを得なかった。しかしトップ10チャレンジ開始早々にコースレコードを更新する1分48秒605をマークしリーダーボードのトップに立つ。柳川明も1分48秒台に入れ2番手につけていたが、高橋が1分48秒327をマークしてトップを奪う。その直後に渡辺が、前人未踏の1分47秒台に突入! 1分47秒657という驚異的なタイムをマークし、ポールポジションを獲得した。「ラップモニターを見て、最初は“48秒6かな?”と思っていましたが、よく見たら47秒台だったのでビックリしました。これもいいバイクに仕上げてくれたチームのおかげです。決勝でいい成績を残せるように、しっかり走るだけです」と渡辺。

高橋は、2番手となるがアベレージでは、一番いい仕上がりを見せており、決勝での巻き返しを狙っている。「アベレージは悪くないですし今回は勝ちたいです。課題となっている序盤を、うまく走るためにもスタートを決めてレースメイクしたいですね」とコメント。

3番手にスペアバイクでのアタックとなった津田が入りフロントロウの一角を占めた。津田は、Q1の転倒で骨折はなかったものの全身を打っており、決勝日の体調が気になるところだ。「3コーナーの転倒は自分のミスだったので、チームに申し訳ないことをしてしまいました。スペアバイクでもタイムが出ましたし、しっかり機能したということだと思います。レースでは、前戦での反省を生かして優勝を狙っていきたいですね」と津田。

4番手には、Honda CBR1000RRのキット車を駆る山口辰也が1分48秒632をたたき出し、従来のコースレコードを上回った。「オートポリスは、好きなコースですし、うまく走れば1分48秒台には入ると思っていました。決勝は、そんなに甘くはないと思いますが、チャンスがあれば行きたいですね」と山口。渡辺の1分47秒台もすごいが、山口のタイムも驚異的だと言えるだろう。

2月にケガをしている柳川も、まだ本調子ではない。開幕戦ではチェッカーフラッグを受けた後、2コーナーでマシンを止め嘔吐していたと言う。「自分の体調が原因で、まだいくつかのコーナーをうまく走ることができないでいます。レースはペース配分を考えないといけないかもしれませんね」と柳川。今回も19周と長丁場となるだけに厳しいレースとなりそうだ。

そしてゼッケン1をつける中須賀も満身創痍だ。先週の事前テストで転倒し肩を痛めていたが、金曜日にも3コーナーで転倒。転倒自体は、大したことではなかったが、マシンと路面に右足を挟まれてしまいヒザから下が大きく腫れ上がってしまっている。そんな状態にも関わらず予選6番手に着けているのだ。「バイクが振られたときに、抑え込むことができないですから厳しいですね。せっかく開幕戦で優勝していいスタートを切れたのですが、まぁ仕方ないです。これでも49秒台で走ることができているので、レース展開次第では勝負したいですね」と中須賀。

7番手の加賀山就臣も調子を上げてきているが、足回り、そしてタイヤとのマッチングに課題を抱えているようだ。そして酒井は、トップ10チャレンジでさらにタイムを上げ8番手グリッドを獲得。ほぼスタンダードのBMW HP4でコース幅を目一杯使い、コーナリングスピードを上げながら走る様は必見だ。

レースは、フロントロウの渡辺、高橋、津田に、山口、柳川、中須賀、加賀山がどこまでついて行けるかによってトップ争いの展開が左右されそうだ。あとは天候が気になるところだ。表彰台の中央に上がるのは、誰だ!?

(佐藤寿宏)

予選2番手／高橋巧

予選3番手／津田拓也

POLE POSITION INTERVIEW

JSB 1000 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

ポールポジション：1分47秒657 R
#26 渡辺 一樹
Team GREEN

『ポールポジションタイムの1分47秒657には自分自身、正直驚いてはいるんですが、チームスタッフのみんなが頑張って良いマシンを作ってくれ、形になったことをこのタイムが証明していると思います。もちろんそのタイムが記録として残るというのは嬉しいし自信にもなりますが、問題は明日のレースの結果ですから、その結果を重要視しています。決勝レースは今まで安定しない展開のレースが多かったのですが、今回の金曜日にロングランで良いアベレージタイムも出ているから、しっかり自分の展開を考えてレースをすれば優勝出来るチャンスは必ずあると思います。明日に照準を合わせて、まだ詰めてゆく部分はあると思いますが、決勝では焦らずしっかり走れるように頑張ります』

ST 600 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

予選では大崎誠之がポールポジション！ 決勝レース1は、國川浩道が逆転トップを守り初優勝！

ポールポジション：1分53秒431
#3 大崎 誠之
伊藤レーシングGMDスズカ

『事前テストからうまく走れていて、マシンのセッティングも早めに決まっていました。決勝レースを想定しての予選セッションで、本当はもっと周りがタイムを上げてくると思っていましたが、うまくポールポジションも取れました。決勝レース1も計算上ではイケるはずだったんですけどね。マシンが今までのフィーリングと若干違って、序盤ペースが全然上げられなくて…、残念です。決勝レース2もポールポジションからスタートできるので、今日悪かった反省点をしっかり克服してレースに臨みたいと思います。最初は様子見で、しっかり周りのペースを見ながら、最後に表彰台に上って今日の借りを返せるように頑張ります』

大崎誠之（予選）

セッションの序盤から激しいアタック合戦が展開された。大崎誠之が1分54秒358でトップに立つ。大崎は53秒431までタイムアップ。次いで岡村光矩が53秒874、國川浩道が54秒063で3番手、津田一磨、横江竜司、チャランポン・ポラマイと続く。結局このままのタイム、順位で予選は終了。決勝レース1、2ともに同じグリッドとなるため、いずれも大崎がポールポジションからスタートする。

15時スタートの決勝レース1、オープニングラップは大崎を先頭に、國川、横江、岡村、伊藤勇樹、チャランポンと続く。2番手だった國川は、序盤、一旦順位を落としていたが再び順位を上げ、7周目に入る1コーナーで大崎を抜いてトップに立った。レース中盤から終盤、國川はじわじわと2位以下に差をつけ、地元岡村の追走も振り切ると自身の初表彰台で初優勝を獲得、TOHO Racingにも嬉しい初優勝をもたらした。

國川浩道（レース1）

決勝レース1正式結果（上位10位まで）

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走33台
●決勝スタート／15:00（16周）

Pos	No.	Name	Team	Time
1	104	國川 浩道	TOHORacingPwdbyモリワキ	30'35.700
2	33	岡村 光矩	RS-ITOH&ASIA	30'37.474
3	24	小林 龍太	ミストレーサwithHARC-PRO.	30'38.475
4	3	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	30'40.300
5	2	横江 竜司	SP忠男レーシングチーム	30'40.551
6	65	C POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	30'42.514
7	69	津田 一磨	WestPower SUZUKI	30'47.333
8	6	稲垣 誠	AKENO・SPEED・MIC	30'47.484
9	12	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	30'47.532
10	14	近藤 湧也	GBSレーシング・YAMAHA	30'52.186

J-GP2 All Japan Road Race Championship
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀、意地と気合いの逆転ポール!!「作戦はなし。スタートから常に全力でいきます!」

今季は役者が揃い、セッション序盤から各ライダーの激しいアタックが繰り広げられたJ-GP2。デチャ・クライサーが早々にモニターのトップに立ち、さらに1分51秒947とレコードタイムを更新する。渡辺一馬が52秒402で2番手、3番手には高橋裕紀で52秒678。井筒仁康、浦本修充、大木崇行と続く。

40分間のセッションを折り返し、渡辺がタイムアップした後、さらに51秒731とレコードをブレイクしてトップに躍り出た。セッション後半のアタックで浦本も52秒261でポジションアップ、高橋も51秒816で2番手へと浮上する。残り5分となり、アタックも最終段階に。高橋が再びタイムアタックを開始、最終周回で51秒572をマーク、見事逆転でポールポジションを獲得した。2番手に渡辺、3番手がデチャ、2列目4番手に浦本、井筒、終盤にタイムアップした関口太郎が続いた。

ポールポジション:1分51秒572 R
#72 高橋 裕紀／MORIWAKI RACING

『10年振りの全日本ロードレース、モリワキレーシングの復帰ということで開幕前から、いろいろ話題にしてもらったこともありプレッシャーもありましたが、モリワキのスタッフも頑張ってマシンの開発に取り組んでくれていましたし、すごくいいモチベーションになっていました。その初戦でポールポジションが取れて、幸先よいスタートだと思います。もちろんレースは優勝したいですし、目標は高いところに置いていますので、もっと努力していこうと思っています。レースでは、スタートからとにかく全力で走るだけですね』

J-GP3 All Japan Road Race Championship
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

山田誓己がセッション終盤にタイムアップ!!「毎周全力で走るだけ。逃げられる形になれば最高!」

標高900mにあるサーキットは、晴天に恵まれて絶好のレース日和となった。最初のセッションとなるJ-GP3クラスの予選は、伊達悠太、鳥羽海渡、菊池寛幸、古市右京、小室旭、大久保光らがモニターの上位を占める。中盤、大久保が1分57秒849でトップに立つと、鳥羽が57秒681で奪い返す。30分経過を前にゼッケン1を付ける山田誓己が57秒121をマークして一気にトップに躍り出た。

終盤にかけても激しいアタックタイムとなり、山田はさらにタイムアップして56秒951をマーク、トップの位置を確かなものに。大久保もこのタイミングでタイムアップ、最終的に57秒592まで上げて2番手に食い込んだ。3番手は鳥羽。セカンドロウの4番手には57秒912で岩戸亮介、伊達、菊池の順。今季KTMでフル参戦の古市右京が健闘し7番手スタートとなった。

ポールポジション:1分56秒951
#1 山田誓己／リベルトPLUSONE & ENDURANCE

『マシンは順調に仕上がっていますが、J-GP3クラスは今回が開幕戦になるので、まだまだ詰めるところが残っています。チームも頑張ってくれているので、いい方向に来ていると思います。レースは、逃げられれば理想ですが、オートポリスは(逃げるのが)難しいので混戦になると思います。レース序盤で、なるべく少ない台数に絞りたいとですね』

Text : Toshihiro Sato & SUPERBIKE.JP / Photo : H.Wakita & Y.Harada / Issued by SUPERBIKE.JP

MFJ Superbike Round2 SUPERBIKE RACE in KYUSHU　26 - 27 April 2014　公式予選結果

ST 600

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走34台
●決勝スタート／11:20（16周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	3	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'53.431
2	33	岡村 光矩	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'53.874
3	104	國川 浩道	TOHORacingPwdbyモリワキ	CBR600RR	1'54.063
4	69	津田 一磨	WestPower SUZUKI	GSX-R600	1'54.110
5	2	横江 竜司	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'54.197
6	65	Chalermpol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'54.215
7	24	小林 龍太	ミストレーサwithHARC-PRO.	CBR600RR	1'54.351
8	14	近藤 湧也	GBSレーシング・YAMAHA	YZF-R6	1'54.480
9	12	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'54.658
10	18	日浦 大治朗	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR600RR	1'54.740
11	6	稲垣 誠	AKENO・SPEED・MIC	YZF-R6	1'54.817
12	76	伊藤 勇樹	Petronas.Hong Leong Yamaha	YZF-R6	1'54.895
13	7	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'55.137
14	16	宮嶋 佳毅	TOHORacingPwdbyモリワキ	CBR600RR	1'55.237
15	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'55.375
16	26	西山 尚吾	RSG&DREAM北九州レーシング	CBR600RR	1'55.409
17	22	奥野 翼	AKENO SPEED	YZF-R6	1'56.101
18	36	松川 泰宏	MOTOBUM+SAI	CBR600RR	1'56.190
19	35	山浦 司	ZOOM R.T.	YZF-R6	1'56.242
20	45	石塚 健*1	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'56.353
21	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	1'56.453
22	97	佐野 優人	SRSJwithMORIWAKI	CBR600RR	1'56.660
23	29	豊田 浩史	D;REX Racing Triumph	DAYTONA675R	1'56.777
24	56	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'56.983
25	75	岡本 雄一郎	RSG レーシング	CBR600RR	1'57.022
26	55	長谷川 直樹	CONFIAHMF&AS小笠原	GSX-R600	1'57.056
27	64	矢田 栄一朗	RT OutRun	YZF-R6	1'57.417
28	73	大山 翼	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	1'57.561
29	92	東野 賢悟	RSGレーシング	CBR600RR	1'57.839
30	82	田中 歩	AKENO SPEED	YZF-R6	1'57.890
31	72	川口 篤史	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	1'57.952
32	53	長野 博	テイックアップSBSKIDANI	GSX-R600L2	1'58.012
33	74	伊賀並 洋平	浜松チームタイタン	GSX-R600	1'58.129
34	13	高橋 颯	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'59.889

***** 以上予選通過基準タイム（2'04.774 - 110%）*****
Entry :34　Start :34
StartTime:10:10'00／FinishTime:10:50'00

J-GP3

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走29台
●決勝スタート／10:15（15周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1		山田 誓己	リベルトPLUSONE & ENDURANCE	NSF250R	1'56.951
2	3		大久保 光	HOTRacing	NSF250R	1'57.592
3	67	Y	鳥羽 海渡	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	1'57.681
4	31	Y	岩戸 亮介	Club PARIS RSC	NSF250R	1'57.912
5	35	Y	伊達 悠太	犬の乳酸菌jp／プリミティブR.T&バトルF	NSF250R	1'57.980
6	10		菊池 寛幸	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	1'57.984
7	19		古市 右京	KTMRACING.ASPIRATION	RC250R	1'58.109
8	56		小室 旭	テルル&EM★KoharaRT	NSF250R	1'58.166
9	33	Y	作本 輝介	Club PARIS RSC	NSF250R	1'58.364
10	634	Y	水野 涼	MuSASHi RTハルクプロ	NSF250R	1'58.434
11	7		徳留 真紀	Tome Team PLUSONE	NSF250R	1'58.693
12	45	Y	南本 宗一郎	P. MU 7C HARC	TSR3	1'59.033
13	14		安村 武志	犬の乳酸菌jp／プリミティブR.T	NSF250R	1'59.045
14	41		宇井 陽一	41planning	ioda	1'59.206
15	22	Y	中山 翔太	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	1'59.338
16	98	Y	佐野 勝人	SRSJwithMORIWAKI	MD250GP3	1'59.391
17	18		澁田 晨央	ウイダーHotRacing.iF	NSF250R	1'59.632
18	32		山本 恭裕	広島カジタRacing&LRC	NSF250R	1'59.962
19	88		Gerry Salim	Astra Honda Racing Team	NSF250R	2'00.033
20	15	Y	山元 聖	P. MU 7C HARC	NSF250R	2'00.141
21	30		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	2'00.487
22	66		大内田 拓	DOGFISHオーテック・鈴鹿	NSF250R	2'00.558
23	27	Y	栗原 佳祐	CLUB HARC-PRO	NSF250R	2'01.077
24	39	Y	伊藤 和輝	KoharaRacing	NSF250R	2'01.148
25	48		高木 伸一	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	2'01.373
26	52		古澤 幸也	FLEX Racing TEAM	NSF250R	2'01.903
27	40		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	2'02.396
28	72		岸田 慶一	FLEX Racingteam	NSF250R	2'02.616
29	87		野村 允	RSS★SHOWA&華山倶楽部	NSF250R	2'03.409

***** 以上予選通過基準タイム（2'08.646 - 110%）*****
Entry :29　Start :29
StartTime:9:15'00／FinishTime:9:55'00
Cls : Y=ユースカップ登録者

J-GP2

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走24台
●決勝スタート／13:45（19周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	72	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	R1'51.572
2	47	渡辺 一馬	テルル&EM★KoharaRT	KALEX	R1'51.731
3	7	Decha KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	TYM-R6	R1'51.947
4	634	浦本 修充	MuSASHi RTハルクプロ	HP6	R1'52.261
5	77	井筒 仁康	WILL-RAISE&RS-I	ZX-6R	1'52.492
6	44	関口 太郎	Team TARO PLUSONE	TSR2	1'52.735
7	2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-MFD6	1'52.771
8	13	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'53.038
9	71	小山 知良	NTST.ProProject	NH6	1'53.236
10	46	星野 知也	SYNCEDGE 4413 Racing	HP6	1'53.364
11	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	MZX-6R	1'53.588
12	73	亀谷 長純	MuSASHi RTハルクプロ	NH6	1'53.719
13	5	岩田 悟	NTST.ProProject	NH6	1'53.907
14	11	佐藤 太紀	TEAM PLUSONE	TSR2	1'54.481
15	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSXR600	1'54.525
16	24	原田 武人	グリーンクラブ能塚	ZX-6R	1'54.977
17	20	藤井 謙汰	F.C.C.TSR BR	TSR2	1'54.984
18	83	野田 弘樹	テルル&EM★KoharaRT	TRS2	1'55.330
19	48	中本 貴也	PITCREW&松戸FLASH	MZX-6R	1'55.384
20	15	中村 豊	CLUB MOTO BUM	CBR600RR	1'55.579
21	18	相馬 利胤	TT45	MD600	1'55.601
22	81	中尾 健治	R&Tサークル・YSP宇部	YZF-R6	1'57.281
23	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	Z600	1'58.000
24	16	赤間 清	ミストレーサwithHARC-PRO.	HP6	1'59.170

***** 以上予選通過基準タイム（2'02.729 - 110%）*****
Entry :24　Start :24
StartTime:11:05'00／FinishTime:11:45'00
R :Course Record　（ Previous Record 1'52.299 ）

ISB 1000

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走23台
●決勝スタート／15:00（19周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	26	渡辺 一樹	TeamGREEN	ZX-10R	R1'47.657
2	634	高橋 巧	MuSASHi RTハルクプロ	CBR1000RR	R1'48.327
3	12	津田 拓也	ヨシムラスズキシェルアドバンス	GSX-R1000L4	R1'48.393
4	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	R1'48.632
5	87	柳川 明	TeamGREEN	ZX-10R	1'48.931
6	1	中須賀 克行	ヤマハYSPレーシングチーム	YZF-R1	1'49.044
7	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'49.458
8	39	酒井 大作	Flex D.R.E. Motorrad39	S1000RR	1'50.181
9	31	野左根 航汰	NTSチームノリックヤマハ	YZF-R1	1'50.413
10	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	1'51.082

***** 以上 TOP10チャレンジにて決定*****
*****以下 Qualifying1にて決定*****

11	85	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'50.920
12	32	今野 由寛	MOTOMAPSUPPLY	GSX-R1000L4	1'51.197
13	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	1'51.943
14	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	S1000RR HP4	1'52.638
15	13	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	1199PanigaleR	1'52.876
16	78	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX-10R	1'52.969
17	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'53.170
18	18	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'53.978
19	28	小島 一浩	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	1'54.444
20	86	大樂 竜也	FLEX+DeakCraft	RC8R	1'55.774
21	42	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'55.968
22	61	森 健祐	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'57.719
23	54	大橋 靖洋	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'58.187

***** 以上予選通過基準タイム（1'59.886 - 110%）*****
Entry :23　Start :23
StartTime:13:20'00／FinishTime:14:30'00
R :Course Record　（ Previous Record 1'48.794 ）

INFORMATION

BS12 TwellV
JOMX
MFJ OFFICIAL TV PROGRAM
JORR

今年も全日本ロードレース完全無料放送!!
「毎週月曜夜8時はバイクの時間」がキーワード!

2014年シーズンも全日本ロードレース選手権はシリーズ全戦をレース開催8日後に「BS12 TwellV（トゥエルビ）」で完全無料放送。現場ではカバーできなかったシーンや迫力のバトル、車載カメラによる映像など、あらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール
第2戦オートポリス　5月5日（月）　20:00〜20:54

ますます充実するインターネット動画!!

USTREAM　コース監視カメラの映像と実況アナの音声で予選・決勝をライブ配信! スマフォ対応です。

YouTube　YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

MFJ Live CHANNEL　TV収録用高画質映像を決勝レース終了後約1時間後に配信!

詳しくはファンサイトで → http://superbike.jp/